

2008年2月8日

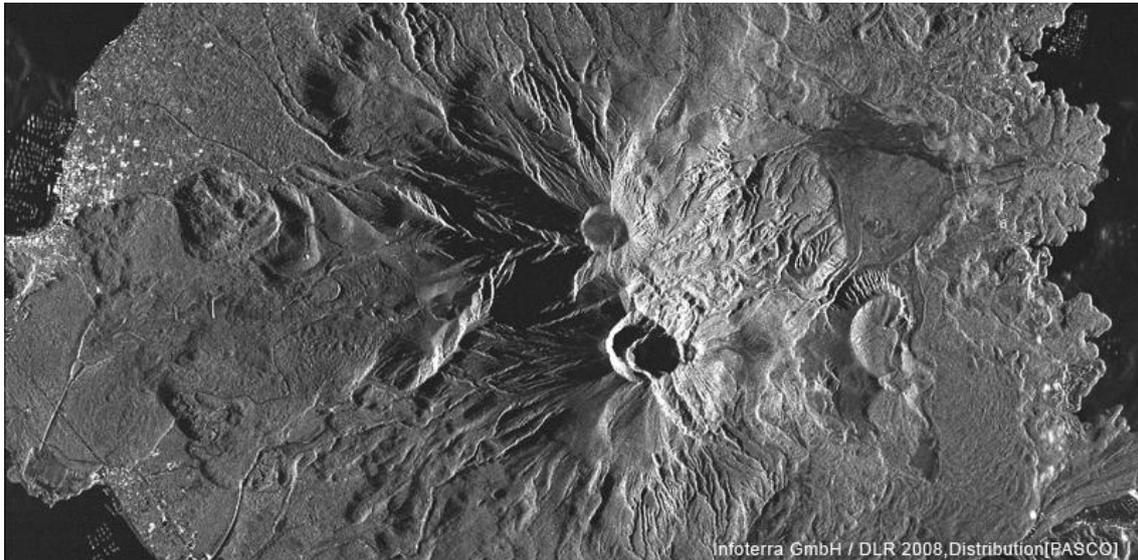
(報道用資料)

鹿児島県桜島の「TerraSAR-X」による緊急撮影を実施
～日本時間、2008年2月8日、6時10分撮影～

株式会社パスコ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:杉本陽一、資本金:87億円、セコムグループ、東証1部)は、2008年2月8日午前6時10分(日本時間)、TerraSAR-Xにより、桜島を中心としたエリアの緊急撮影を行いました。

2月3日に鹿児島県桜島の昭和火口で2度の爆発的噴火があり、以後も散発的な噴火により、噴石の飛散や火砕流の発生も確認されております。

撮影したデータは直ちにパスコ所有の地上局で受信し、画像再生処理を行いました。この画像では桜島の東側斜面の状態が噴煙や雲を透過して明瞭に表現されています。



© Infoterra GmbH / DLR 2008, Distribution [PASCO]



■撮影条件

撮影モード: SpotLight モード

入射角 : 52.93 度

撮影軌道 : ディセンディング(降交軌道)

偏波 : 単偏波(HH)

※西側斜面は、撮影時の入射角の影響で陰が発生し、黒く写っています。

TerraSAR-X は、衛星本体からマイクロ波を照射し、地表面あるいは地上の対象物から反射・散乱されて戻ってくるエコーを受信する能動型センサを搭載しており、昼夜間を問わず、また、雲や噴煙の影響を受けず地表面を撮影できるため、災害発生時に大きな威力を発揮することが期待されています。



【撮影位置図】



【2月8日8時20分の桜島:西南西から撮影】

■ 今後について

今回、公開する画像は衛星撮影の初期画像です。今後、更に処理を加え、順次パスコホームページ上で公開して行きます。

⇒ <http://www.pasco.co.jp/disaster/>

■ お問い合わせ先

(報道関係者様から)

株式会社パスコ 戦略企画部広報宣伝グループ TEL:03-3715-1048

(お客さまから)

株式会社パスコ カスタマーセンター TEL:0120-494-80

※ TerraSAR-X と Infoterra 社とは

TerraSAR-X は、世界中に天候によらず高解像度の地球観測データを提供できるドイツのレーダー衛星で、様々な分野で利用可能で、Infoterra 社(ドイツ)がこのデータの独占的な商業利用権を保有している。

パスコは、2006年より日本地域を担当するダイレクトアクセスパートナー(DAP)として Infoterra 社のグローバル TerraSAR-X サービスの代理店ネットワークに加入している。

www.infoterra.de